

学校名 川内中央中学校 校長名 上栗 博文

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評価(数値平均)			主な意見				
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	○学校便りのメール配信・地域回覧により、学校情報の広報・周知を行う。 ○保護者アンケートを実施し、教育活動の成果や課題を明確にする。	段階	人数	平均	○学校安心メール等で情報発信されている。
			A	5	3.1		A	1	3.3	
			B	33			B	3		
			C	1			C	0		
D	0	D	0							
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均	○職員による学校評価を行い、数値目標の達成状況について分析、その成果や課題を明確にすると共に、達成率が低い項目についての対策を講じる。	段階	人数	平均	○人権尊重を基盤とした教育活動がなされている。
			A	5	3.0		A	1	3.3	
			B	32			B	3		
			C	2			C	0		
D	1	D	0							
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	○「魅力ある学校づくり」を推進し、学校行事を生かした仲間づくりや人づくり、分かる授業の実践に努める。	段階	人数	平均	○挨拶と笑顔があふれる学校を目指してほしい。
			A	9	3.2		A	1	3.3	
			B	26			B	3		
			C	3			C	0		
D	0	D	0							
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	○生徒指導部会・心の教育委員会において情報を共有し、対策を講じると共に、学年部を中心にそれぞれの役割を分担し、組織的に対応する。	段階	人数	平均	○生徒指導部会、心の教育委員会を中心に心の教育に取り組む。
			A	13	3.3		A	2	3.0	
			B	25			B	0		
			C	0			C	2		
D	0	D	0							
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	○交通事故多発場所や事故の要因について、生徒へ周知・指導を行う。 ○生徒の危機管理能力を育てるための訓練や日常生活の指導・助言に努める。	段階	人数	平均	○交通安全の徹底指導をお願いしたい。地域の支援も必要。
			A	6	3.0		A	2	3.3	
			B	29			B	1		
			C	5			C	1		
D	0	D	0							
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	平均	○生徒との信頼関係づくりに努めると共に、生徒の活動の様子やそのよさを学級・学年・学校便りやブログ等で保護者や地域に発信する。	段階	人数	平均	○困っている親子に寄り添う関係を築いてほしい。
			A	10	3.2		A	1	3.3	
			B	27			B	3		
			C	2			C	0		
D	0	D	0							
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	○生徒会活動を推進し、生徒が主体的に環境整備、学校美化に取り組む体制づくりを行う。 ○道徳や学校行事等を生かし、愛校心を育てる。	段階	人数	平均	
			A	5	2.9		A	1	3.0	
			B	22			B	2		
			C	7			C	1		
D	0	D	0							
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	平均	○毎月の安全点検を徹底し、安全の維持管理に努める。	段階	人数	平均	○校舎の劣化が目立つ。
			A	10	3.1		A	1	3.0	
			B	27			B	2		
			C	4			C	1		
D	0	D	0							
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	○成績表の作成と家庭への情報提供を行う。 ○学力・学習状況調査結果について、学校便りを通じて保護者や地域へ情報を提供する。	段階	人数	平均	○体力と関係あるかは分からないが、なるべく自力登校させて欲しい。
			A	13	3.3		A	0	3.0	
			B	25			B	4		
			C	1			C	0		
D	0	D	0							
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	○定期的なPTA理事会の開催により、役員との協議を重ね、学校教育活動への参画を推進する。 ○学校便りや学校ブログ等を通じた情報発信を行う。	段階	人数	平均	
			A	6	3.1		A	1	3.3	
			B	31			B	3		
			C	1			C	0		
D	0	D	0							

学 校 名
川内中央中学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評定(数値平均)				評定(数値平均)	主な意見		
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階	人数	2.8	○本校区の小中一貫教育の構想や目標を共有し、研究推進委員会やクローバー部会における研究の推進を図り、研究公開においてその成果や課題を明確にする。	段階	人数	3.3	○小中一貫教育が行われ効果が表れている。 ○成果という視点はなかなか難しい。
			A	3			A	1		
			B	25			B	3		
			C	8			C	0		
D	1	D	0							
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	段階	人数	2.6	○元気塾の予算を基に行われている教育活動について職員への周知を図る。 ○キャリア教育との関連を図り、元気塾の内容や方法等について検討する。	段階	人数	2.8	○塾の認知度が低い。
			A	1			A	0		
			B	19			B	3		
			C	13			C	1		
D	1	D	0							
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階	人数	2.9	○英語教育における小中一貫教育の推進を図り、小・中教員の相互研修や乗り入れ授業等の充実を図る。	段階	人数	3.0	
			A	1			A	1		
			B	5			B	2		
			C	2			C	1		
D	0	D	0							
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	3.0	○生徒会活動の推進を図り、AKP活動を核とするあいさつ運動を展開する。 ○生徒の地域行事等への参画を促し、生徒の健全育成に努める。	段階	人数	3.3	○元気な笑顔と挨拶が見られる。
			A	6			A	1		
			B	28			B	3		
			C	6			C	0		
D	0	D	0							
15	(8)		段階	人数	#DIV/0!		段階	人数	#DIV/0!	
			A				A			
			B				B			
			C				C			
D		D								
16	(8)		段階	人数	#DIV/0!		段階	人数	#DIV/0!	
			A				A			
			B				B			
			C				C			
D		D								

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

- いじめや不登校などの生徒指導上の問題・課題について、生徒指導部会や心の教育委員会で情報共有を行い、関係機関との連携を図りながら、それぞれの役割を明確にし、組織的に対応し、その解決を図る。
- 道徳教育や学校行事等への取組を通して、生徒の愛校心を育てると共に、自主的・主体的な生徒会活動を推進し、学校美化、学習の場に適した環境づくりに努める。また、日常の清掃指導の徹底やPTA事業部の親子奉仕作業での環境整備など、学校・家庭が一体となった環境整備に努める。
- 安全点検(月1回実施)による不良箇所を確認を行い、事務職員や市教育委員会への依頼等、生徒の安全面を第一とする施設・設備の安全維持管理を行う。
- 三者相談の実施や家庭向けの資料配布等により、生徒の学力や体力の実態について保護者へ伝えると共に、全国・鹿児島学力・学習状況調査結果を、学校便りに掲載し、成果や課題を明らかにする。
- 小中一貫教育の研究を公開し、その成果や課題を検証、今後取り組むべき方向性について検討する。
- 薩摩川内元気塾については、その認知度を上げるための広報の在り方や内容・方法等について検討する。
- 中学校教員による小学校への英語の乗り入れ授業や相互研修の実施等、小中一貫教育における連携を強化し、英語教育の充実を図る。